



2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL https://www.candeal.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理管掌) (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)
 定時株主総会開催予定日 2023年12月22日 配当支払開始予定日 2023年12月25日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の連結業績(2022年10月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	12,309	9.2	452	34.1	441	45.4	224	112.8
2022年9月期	11,268	0.4	337	432.6	303	728.6	105	—

(注) 包括利益 2023年9月期 224百万円(112.8%) 2022年9月期 105百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	24.45	24.37	8.6	7.0	3.7
2022年9月期	11.23	11.20	3.7	4.4	3.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	6,225	2,706	43.5	293.98
2022年9月期	6,480	2,516	38.8	274.64

(参考) 自己資本 2023年9月期 2,706百万円 2022年9月期 2,516百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	595	△41	△830	1,616
2022年9月期	467	△33	△1,141	1,892

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00	54	53.4	2.1
2023年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00	55	24.5	2.1
2024年9月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00		32.0	

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	13,540	10.0	493	9.0	486	10.0	230	2.4	円 銭 24.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	10,734,200株	2022年9月期	10,734,200株
② 期末自己株式数	2023年9月期	1,529,100株	2022年9月期	1,570,000株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	9,185,869株	2022年9月期	9,398,720株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	1,164	10.6	216	36.6	204	38.6	121	44.6
2022年9月期	1,052	△6.9	158	7.8	147	13.3	83	14.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期	13.21		13.17					
2022年9月期	8.93		8.90					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年9月期	4,304		2,394		55.6	260.15		
2022年9月期	4,966		2,308		46.5	251.92		

(参考) 自己資本 2023年9月期 2,394百万円 2022年9月期 2,308百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に位置づけられたことで一層社会活動の制限は緩和されてきており、概して個人消費マインドも持ち直しの動きが見受けられました。また円安や賃上げなどの影響による全体的な商品・サービスの価格上昇が続いており、インフレ傾向で推移いたしました。一方、実質賃金の継続的低下による足元での消費マインド停滞の兆しや、コスト上昇に見合った価格転嫁の実施割合が芳しくない現状など、経済下振れリスクを抱え、先行きの不透明な側面も見受けられました。

建設業界としては、慢性的な人手不足という課題に加え、2024年問題に向け人員体制の整備もしていく必要があり、人員確保のため各企業で賃上げや福利厚生の実施など雇用環境改善の動きが高まっており、企業間での人材獲得競争は激しさを増しております。また円安進行や物価上昇に伴い資材価格も引き続き高騰しているといった厳しい状況下にあります。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による2022年10月～2023年9月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比90.8%、分譲マンションが前年同期比99.4%、住宅市場全体としては前年同期比96.5%と弱含みで推移いたしましたが、商環境に関しましては、インバウンド需要や個人消費が回復傾向で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念にもとづき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながら、2021年に新しく閣議決定されました「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。また、グループが保有する経営資源を有効活用し、経営の合理化・効率化を推進するため、2023年4月1日付で当社の連結子会社間にて会社分割（吸収分割）を行い、株式会社キャンディルテクトの「リペアサービス」「住環境向け建築サービス」を、株式会社キャンディルデザインへ承継いたしました。事業の最適化に向けて各種調整を行い、順調な滑り出しとなりました。

資材・エネルギー価格の高騰、人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、社会活動の緩やかな回復、また営業施策の奏功や業務提携効果により、当社グループのサービス提供機会は増加し、売上高は一段と回復傾向を示し、売上総利益の増加などにより営業利益は大幅に増加いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は12,309,603千円（前年同期比109.2%）、営業利益は452,365千円（前年同期比134.1%）、経常利益は441,661千円（前年同期比145.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益は224,550千円（前年同期比212.8%）となりました。なお、当社では過去の組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に192,223千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は633,885千円（前年同期比127.8%）、のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益は416,774千円（前年同期比140.0%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

① リペアサービス

当連結会計年度におけるリペアサービスの連結売上高は4,338,797千円（前年同期比103.7%）となりました。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心にリペアを提供しておりますが、住宅市場の需要を積極的に取り入れたことで、同社のリペアサービスの売上高は3,516,619千円（前年同期比103.6%）と堅調に推移いたしました。株式会社キャンディルテクトに所属しておりました集合住宅を中心とするリペア部門は、2023年4月1日付けの会社分割により株式会社キャンディルデザインへ承継いたしました。株式会社キャンディルテクトの第2四半期連結累計期間のリペアサービスの売上高は410,037千円、株式会社キャンディルデザインの当第3四半期連結会計期間と当第4四半期連結会計期間合計のリペアサービスの売上高は412,140千円であり、当該2社を合算した当連結会計年度のリペアサービス売上高は822,177千円（前年同期比103.8%）とこちらも堅調に推移いたしました。

② 住環境向け建築サービス

当連結会計年度における住環境向け建築サービスの連結売上高は3,014,409千円（前年同期比106.4%）となりました。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心に定期点検、検査、小型修繕、各種施工、リコール対応を提供しておりますが、定期点検数の増加や単価上昇などにより、同社の住環境向け建築サービスの売上高は2,398,603千円（前年同期比108.2%）となりました。株式会社キャンディルテクトに所属しておりました集合住宅を中心とする検査部門は、2023年4月1日付けの会社分割により株式会社キャンディルデザインへ承継いたしました。株式会社キャンディルテクトの第2四半期連結累計期間の住環境向け建築サービスの売上高は305,951千円、株式会社キャンディルデザインの当第3四半期連結会計期間と当第4四半期連結会計期間合計の住環境向け建築サービスの売上高は309,854千円であり、当該2社を合算した当連結会計年度の住環境向け建築サービスの売上高は615,806千円（前年同期比100.2%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当連結会計年度における商環境向け建築サービスの連結売上高は3,862,558千円（前年同期比111.9%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境の市場回復に伴うオフィスや商業施設、店舗の改修案件やメンテナンス案件などを取り込んだ結果、増収となりました。

④ 商材販売

当連結会計年度における商材販売の売上高は639,890千円（前年同期比106.4%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス材料を販売しており増収となりました。

⑤ 抗ウイルス抗菌サービス

当連結会計年度における抗ウイルス抗菌サービスの売上高は453,946千円（前年同期比231.3%）となりました。

抗ウイルス抗菌サービスは室内の壁面・天井、水まわり、床などの各種コーティングを提供しておりますが、資本業務提携効果や家電量販店などとの協業により水まわりコーティング案件が好調に推移し、大幅に増収いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当連結会計年度末における資産合計は6,225,228千円となり、前連結会計年度末に比べ255,170千円の減少となりました。

流動資産は3,662,290千円となり、前連結会計年度末に比べ87,290千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が276,176千円減少したこと、受取手形及び売掛金が170,404千円増加したことなどによります。

固定資産は2,562,938千円となり、前連結会計年度末に比べ167,879千円の減少となりました。これは、主に工具、器具及び備品が9,515千円増加したこと、のれんが192,223千円減少したこと、ソフトウェアが32,656千円減少したことなどによります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は3,519,141千円となり、前連結会計年度末に比べ444,406千円の減少となりました。

流動負債は2,782,480千円となり、前連結会計年度末に比べ13,088千円の減少となりました。これは、主に買掛金が119,393千円増加したこと、短期借入金が358,335千円減少したこと、未払消費税等が18,615千円増加したこと、賞与引当金が19,880千円減少したこと、未払費用が86,295千円増加したことなどによります。

固定負債は736,661千円となり、前連結会計年度末に比べ431,317千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が431,663千円減少したことなどによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,706,086千円となり、前連結会計年度末に比べ189,236千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が169,473千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は43.5%（前連結会計年度末比4.6ポイント上昇）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は1,616,235千円と、前連結会計年度末に比べ276,176千円の減少となりました。

当連結会計年度末における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、595,460千円（前年同期は467,772千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益441,661千円を計上したこと、のれん償却額192,223千円、売上債権が170,404千円増加したこと、仕入債務が119,393千円増加したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、41,215千円（前年同期は33,741千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出22,895千円、無形固定資産の取得による支出18,200千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、830,421千円（前年同期は1,141,982千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額358,335千円、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出721,663千円などによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループに関連の深い市場の次期（2024年9月期）見通しにつきましては、住環境市場は横ばいで推移し、商環境市場は順調に回復することを想定しております。このような状況の中で、当社グループは需要を十分に取り込めるよう引き続き自社技術者の採用活動と協力業者網の拡充に努め労働力を確保し、当社グループ過去最高の売上高を目指してまいります。

以上を踏まえた次期業績につきましては、売上高は13,540百万円（2023年9月期比110.0%）、営業利益は493百万円（2023年9月期比109.0%）、経常利益は486百万円（2023年9月期比110.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益は230百万円（2023年9月期比102.4%）と見込んでおります。

また、中間業績の見通しにつきましては、受注した施工案件の完成・引渡時期により、当社グループの業績も大きく変動する可能性があること等から開示しておりません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892,412	1,616,235
受取手形及び売掛金	1,555,662	1,726,066
商品及び製品	128,955	127,069
原材料及び貯蔵品	31,728	34,063
その他	147,266	163,274
貸倒引当金	△6,444	△4,420
流動資産合計	3,749,580	3,662,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,119	71,726
機械装置及び運搬具	8,066	9,700
工具、器具及び備品	79,500	89,015
リース資産	3,371	3,371
減価償却累計額	△108,699	△112,962
有形固定資産合計	51,358	60,852
無形固定資産		
のれん	2,306,684	2,114,460
ソフトウェア	143,261	110,605
その他	2,020	1,970
無形固定資産合計	2,451,967	2,227,037
投資その他の資産		
投資有価証券	42,007	45,962
敷金及び保証金	62,303	61,729
繰延税金資産	94,769	96,629
その他	31,882	74,632
貸倒引当金	△3,471	△3,904
投資その他の資産合計	227,492	275,048
固定資産合計	2,730,817	2,562,938
資産合計	6,480,398	6,225,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,179	450,573
短期借入金	658,335	300,000
1年内返済予定の長期借入金	699,996	709,996
リース債務	745	754
未払法人税等	125,769	113,727
未払消費税等	103,233	121,849
賞与引当金	142,615	122,735
未払費用	502,788	589,083
その他	230,905	373,760
流動負債合計	2,795,568	2,782,480
固定負債		
長期借入金	1,159,180	727,517
リース債務	1,199	444
その他	7,600	8,700
固定負債合計	1,167,979	736,661
負債合計	3,963,548	3,519,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,281,887	2,280,954
利益剰余金	467,596	637,069
自己株式	△794,420	△773,724
株主資本合計	2,516,850	2,706,086
純資産合計	2,516,850	2,706,086
負債純資産合計	6,480,398	6,225,228

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,268,815	12,309,603
売上原価	7,173,612	7,868,598
売上総利益	4,095,202	4,441,005
販売費及び一般管理費		
役員報酬	131,370	136,890
給料手当及び賞与	1,674,905	1,704,787
賞与引当金繰入額	142,615	122,735
地代家賃	286,124	273,609
のれん償却額	192,223	192,223
その他	1,330,671	1,558,395
販売費及び一般管理費合計	3,757,910	3,988,640
営業利益	337,292	452,365
営業外収益		
受取利息	58	72
助成金収入	1,872	924
受取保険金	3,723	4,164
固定資産売却益	2,842	2,396
その他	2,577	3,227
営業外収益合計	11,074	10,784
営業外費用		
支払利息	16,691	13,222
損害賠償金	24,248	-
固定資産除却損	-	5,924
障害者雇用納付金	900	1,675
その他	2,827	665
営業外費用合計	44,666	21,487
経常利益	303,700	441,661
税金等調整前当期純利益	303,700	441,661
法人税、住民税及び事業税	194,396	218,970
法人税等調整額	3,763	△1,859
法人税等合計	198,159	217,110
当期純利益	105,540	224,550
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	105,540	224,550

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	105,540	224,550
包括利益	105,540	224,550
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	105,540	224,550
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	559,537	2,279,637	421,721	-	3,260,895
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	2,250	2,250			4,500
剰余金の配当			△59,665		△59,665
譲渡制限付株式報酬に係る自己株式の処分					-
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入					-
親会社株主に帰属する当期純利益			105,540		105,540
自己株式の取得				△794,420	△794,420
当期変動額合計	2,250	2,250	45,874	△794,420	△744,045
当期末残高	561,787	2,281,887	467,596	△794,420	2,516,850

	純資産合計
当期首残高	3,260,895
当期変動額	
新株の発行(新株予約権の行使)	4,500
剰余金の配当	△59,665
譲渡制限付株式報酬に係る自己株式の処分	-
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	-
親会社株主に帰属する当期純利益	105,540
自己株式の取得	△794,420
当期変動額合計	△744,045
当期末残高	2,516,850

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	561,787	2,281,887	467,596	△794,420	2,516,850
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					-
剰余金の配当			△55,077		△55,077
譲渡制限付株式報酬に係る自己株式の処分		△260		14,623	14,363
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入		△672		6,072	5,400
親会社株主に帰属する当期純利益			224,550		224,550
自己株式の取得					-
当期変動額合計	-	△932	169,473	20,695	189,236
当期末残高	561,787	2,280,954	637,069	△773,724	2,706,086

	純資産合計
当期首残高	2,516,850
当期変動額	
新株の発行(新株予約権の行使)	-
剰余金の配当	△55,077
譲渡制限付株式報酬に係る自己株式の処分	14,363
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	5,400
親会社株主に帰属する当期純利益	224,550
自己株式の取得	-
当期変動額合計	189,236
当期末残高	2,706,086

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	303,700	441,661
減価償却費	58,446	61,246
のれん償却額	192,223	192,223
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△505	△1,592
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,890	△19,880
受取利息及び受取配当金	△58	△72
支払利息	16,691	13,222
売上債権の増減額 (△は増加)	△99,841	△170,404
棚卸資産の増減額 (△は増加)	27,604	△2,439
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,453	119,393
未払消費税等の増減額 (△は減少)	56,187	18,615
その他	△32,254	187,713
小計	525,630	839,689
利息及び配当金の受取額	58	72
利息の支払額	△16,671	△13,029
法人税等の還付額	49,618	1,839
法人税等の支払額	△90,862	△233,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,772	595,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,893	△22,895
有形固定資産の売却による収入	4,530	3,940
無形固定資産の取得による支出	△38,428	△18,200
投資有価証券の取得による支出	-	△3,954
その他	4,049	△105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,741	△41,215
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	458,335	△358,335
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△749,996	△721,663
リース債務の返済による支出	△736	△745
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,500	5,400
自己株式の取得による支出	△794,420	-
配当金の支払額	△59,665	△55,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,141,982	△830,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△707,951	△276,176
現金及び現金同等物の期首残高	2,600,363	1,892,412
現金及び現金同等物の期末残高	1,892,412	1,616,235

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	4,185,734
住環境向け建築サービス	2,832,195
商環境向け建築サービス	3,452,945
商材販売	601,646
抗ウイルス抗菌サービス	196,293
顧客との契約から生じる収益	11,268,815
その他の収益	—
外部顧客への売上高	11,268,815

当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	4,338,797
住環境向け建築サービス	3,014,409
商環境向け建築サービス	3,862,558
商材販売	639,890
抗ウイルス抗菌サービス	453,946
顧客との契約から生じる収益	12,309,603
その他の収益	—
外部顧客への売上高	12,309,603

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	274.64円	293.98円
1株当たり当期純利益	11.23円	24.45円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	11.20円	24.37円

(注) 1. 「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	105,540	224,550
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	105,540	224,550
普通株式の期中平均株式数(株)	9,398,720	9,185,869
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	25,415	27,193
(うち新株予約権(株))	(25,415)	(27,193)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	2,516,850	2,706,086
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,516,850	2,706,086
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,164,200	9,205,100

(重要な後発事象)

該当事項はありません。